

WHO国際がん研究機関（IARC）国際専門家グループについて

【名称】 International Expert Group on Long-term Strategies for Thyroid Monitoring after Nuclear Accident（原子力事故後の甲状腺モニタリングの長期戦略に関する国際専門家グループ）

【設置主体】 WHO国際がん研究機関（IARC）

【活動内容等】

- 原子力事故による放射線被ばくの影響に係る公衆への甲状腺モニタリングの計画と実行に係る戦略及び助言を示す。
- がんスクリーニング、放射線疫学、線量測定、病理学、腫瘍学、内分泌学、外科学を含めた様々な領域から成る 16 名の国際専門家より構成され、国際がん研究機関が事務局を行う。
- WHO国際専門家グループの会合は、フランスのリヨンで2回開催される予定である。

<目的>

- ・ 原子力事故時に甲状腺超音波検査を実施する際の原則を提示するために、甲状腺がんの疫学、自然史及び臨床管理に関する最新の科学的知見を整理する。これには、科学的論文のレビューや関連する国々からの知見のとりまとめも含まれる。
- ・ 知見が不足している領域への取組として、今後の研究課題を特定し疫学研究デザインを提案する。

（ IARC ウェブページ [<http://tmnuc.iarc.fr/>] より抜粋 ）

※ 第1回会合は2017年10月23日～25日に開催されている。

※ 同グループメンバーが平成30年1月に福島を訪問し、関連施設等を視察するとともに、日本国内の専門家等として、「県民健康調査」検討委員会委員及び甲状腺検査評価部会部会員との意見交換を行う予定としている。